

BUỔI 02

Dạng bài cách nói khác



Luyện tập

問題 6 :

わたしたちはふつう、視野に入っているものはみんな見ている、と思いがすいのですが、視野に入っているにも注意していなければ見えないものです。普段でもそうです、自分が足を怪我すると、町の中には足を怪我した人が思いの外に多いことに気がつきます。よく若者が電車に乗って老人に席を譲らないといいますが、あれは老人は網膜の上には映っていても、意識のアンテナが働いていないのだと思います。若者には同世代の若者がよく目についたのは、自分の経験からも分かります。

問い：この文章の内容として最も適切なものはどれか。

1. 若者が老人に席を譲らないのは、老人が視野に入っていないからである
2. 若者は同世代の若者に対してだけ意識のアンテナを働かせているのである
3. 目に入ったものでも、意識を働かせていないと、実は見えていないのである
4. 我々は、何に対してでも、意識のアンテナをよく働かせなければならない

問題 7 :

ニュースの価値や情報を決めるのは、客観的な基準やデータだけではなく、たまたまそのニュースを担当した人の感情や好き嫌いが大きく働いている。この「感情や好は、」
「主観」と言換えることもできる。客観の反対。つまりテレビのニュースや新聞の記事は、何を報道するかしないか、何をニュースにするかしないかを決めるの段階で、もう客観的などというレベルではない。

問い：この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1. ニュースは、その内容を選択する時点から報道する側の主観が入っている
2. ニュースの価値は、それが客観的であるかどうかによって決まる
3. ニュースの追当著は、自分の感情や好き嫌いに気をつけるべきだ

4. ニュースは、客観的な基準を気にせず、主観的に報道すればよい

問題 8 :

人間は何であれ、自由が好きです。「自由」とは「自分勝手^{じぶんかって}」と考えてもらってもいいでしょう。人間は自分勝手を好みます。だが、他人の勝手になることを嫌います。憎みます。誰もが自分勝手に振る舞おうとすると、他人の勝手と衝突^{しょうとつ}します。自分の勝手を通そうとすると、他人の勝手を押しとどめなければなりません。またどんなに自分の勝手を押し通そうとしても、相手のほうが強力ならば、相手の勝手に押さえ込まれてしまうことになります。「自由」になろうと思うと、やっかいだということがわかるでしょう。

問い：この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1. 人は皆自由になりたいと考えるが、自分勝手な行動はやめなければならない
2. 人は何かをさせられるのは嫌だが、完全に自由になることを好むわけでもない
3. 人が各人の自由を勝ち取るためには、ほかの人と衝突することが重要である
4. 人は皆自由になりたいと考えるが、他人と衝突するので大変だ

問題 9 :

できる人と思わせるためには下準備が必要である。しかし、実は最大の下準備は、何といっても「自分を知る」ことである。

というのは、できないものをできるように見せるのはかなり難しいが、自分の長所を前面に出せば、できるように見せるのはそう難しくないということがある。もう一つは、人間というのは、よほど嫌いな相手でない限り、相手の短所より長所のほうに目が行くよう出来ていることが、さまざまな心理実験で明らかにされている。いわゆる「隣の芝生^{しぼう}は青い」現象である。

だから、欠点を隠^{かく}そうとするより、長所を目立つようにしたほうが、できる人に見えるのだ。現実には、社会のほうも、欠点のない何でも屋のような人間より、多少欠点はあっても、長所の抜きん出た人間のほうを重用するようになってきている。

問い：この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1. 自分をよく分析し、欠点が目立たないようにすれば、他人からできる人と思われる
2. 周囲の人に自分の長所も短所も理解してもらえば、できる人と思ってもらえる
3. できる人と思われるには、何かをするとき、十分に準備し、欠点を補う必要がある
4. できる人と思われるには、自分の長所を周りの人によくわかるようにするのがよい